

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザイン I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習		
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	就職の心構え	31
	2	自己分析（1）	32
	3	自己分析（2）	33
	4	自己分析（3）	34
	5	自己分析（4）	35
	6	自己PR作成（1）	36
	7	自己PR作成（2）	37
	8	自己PR作成（3）	38
	9	自己PR作成（4）	39
	10	効果測定 自己PR	40
	11	筆記試験とは	41
	12	一般常識対策（1）	42
	13	一般常識対策（2）	43
	14	適性試験対策（1）	44
	15	適性試験対策（2）	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITキャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	就職活動および就職試験の対策	
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習	
達成目標	面接時の自己PRおよび志望動機が十分に回答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 面接試験とは 2 面接試験における質問研究（1） 3 面接試験における質問研究（2） 4 面接試験における質問研究（3） 5 説明会・選考試験とは 6 入退室方法の確認 7 面接力トレーニング（1） 8 面接力トレーニング（2） 9 応募書類の準備 10 履歴書作成（1） 11 履歴書作成（2） 12 履歴書作成（3） 13 仕事・会社選びの基礎知識 14 企業研究シート作成（1） 15 企業研究シート作成（2） 16 企業研究シート作成（3） 17 志望動機作成（1） 18 志望動機作成（2） 19 志望動機作成（3） 20 面接力トレーニング（3） 21 面接力トレーニング（4） 22 面接試験における質問研究（4） 23 面接試験における質問研究（5） 24 面接試験における質問研究（6） 25 面接力トレーニング（5） 26 面接力トレーニング（6） 27 エントリーシート作成（1） 28 エントリーシート作成（2） 29 エントリーシート作成（3） 30 作文演習（1）	31 作文演習（2） 32 インターネットによるアクセス 33 電子メールによるアクセス 34 電話によるアクセス 35 電話応対実践（1） 36 電話応対実践（2） 37 電話応対実践（3） 38 効果測定 電話応対 39 就職活動における自己管理 40 面接トレーニング（7） 41 面接トレーニング（8） 42 就職マニュアルの確認 43 就職システムの利用方法 44 面接トレーニング（9） 45 面接トレーニング（10） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	一般教養 I		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	一般常識や漢字など学習		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。		
達成目標	模擬試験および検定試験で合格点を取る		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	一般常識対策（1）	31
	2	一般常識対策（2）	32
	3	一般常識対策（3）	33
	4	一般常識対策（4）	34
	5	一般常識対策（5）	35
	6	適性試験対策（1）	36
	7	適性試験対策（2）	37
	8	適性試験対策（3）	38
	9	適性試験対策（4）	39
	10	適性試験対策（5）	40
	11	漢字試験対策（1）	41
	12	漢字試験対策（2）	42
	13	漢字試験対策（3）	43
	14	漢字試験対策（4）	44
	15	効果測定 漢字	45
			46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識 I	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	IT基礎全般において、基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 第1章ハードウェア I 2 第2章基礎理論 3 問題演習 4 第2章基礎理論 5 第2章基礎理論 6 問題演習 7 第3章ハードウェア II 8 第3章ハードウェア II 9 問題演習 10 第3章ハードウェア II 11 第4章ソフトウェア 12 問題演習 13 第4章ソフトウェア 14 第4章ソフトウェア 15 問題演習 16 第4章ソフトウェア、第5章アルゴリズム 17 第5章アルゴリズム 18 問題演習 19 第5章アルゴリズム 20 第6章データベース 21 問題演習 22 第6章データベース 23 第6章データベース 24 問題演習 25 第7章ネットワーク 26 第7章ネットワーク 27 問題演習 28 第7章ネットワーク、第8章セキュリティ 29 第8章セキュリティ 30 問題演習	31 第8章セキュリティ、第9章システム構成要素 32 第9章システム構成要素 33 問題演習 34 第9章システム構成要素 35 第10章マルチメディア 36 問題演習 37 第11章システム開発 38 第11章システム開発 39 問題演習 40 第12章マネジメント 41 第12章マネジメント 42 問題演習 43 第13章ストラテジ 44 第13章ストラテジ 45 問題演習 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	基本情報技術者試験の午前科目試験に合格できるレベルに達する	
教科書	答案練習問題	
特記		
授業計画	1 項目別問題演習 1 2 項目別問題演習 1 3 項目別問題演習 1 4 項目別問題演習 2 5 項目別問題演習 2 6 項目別問題演習 2 7 項目別問題演習 3 8 項目別問題演習 3 9 項目別問題演習 3 10 項目別問題演習 4 11 項目別問題演習 4 12 項目別問題演習 4 13 項目別問題演習 5 14 項目別問題演習 5 15 項目別問題演習 5 16 項目別問題演習 6 17 項目別問題演習 6 18 項目別問題演習 6 19 総合問題演習 1 20 総合問題演習 1 21 総合問題演習 1 22 総合問題演習 2 23 総合問題演習 2 24 総合問題演習 2 25 総合問題演習 3 26 総合問題演習 3 27 総合問題演習 3 28 総合問題演習 4 29 総合問題演習 4 30 総合問題演習 4	31 総合問題演習 5 32 総合問題演習 5 33 総合問題演習 5 34 総合問題演習 6 35 総合問題演習 6 36 総合問題演習 6 37 直前対策問題演習 1 38 直前対策問題演習 1 39 直前対策問題演習 1 40 直前対策問題演習 2 41 直前対策問題演習 2 42 直前対策問題演習 2 43 直前対策問題演習 3 44 直前対策問題演習 3 45 直前対策問題演習 3 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	コンピュータリテラシー		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	Officeソフト：Word、Excel、PowerPointの操作学習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	Officeソフトの基本的な操作方法を身につける		
教科書	情報利活用 基本演習		
特記			
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31
	2	一般的なビジネス文書の作成	32
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33
	4	表、画像、図形を使った文書の作成	34
	5	効果測定 文書作成	35
	6	プレゼンテーションの企画	36
	7	わかりやすいストーリー構成	37
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39
	10	効果測定 プレゼンテーション	40
	11	表作成の基本操作	41
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43
	14	グラフの基本	44
	15	効果測定 表計算	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	HTML/CSS		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	HTML/CSS		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	HTML/CSSを使用してWebページの作成ができる		
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本（インプレス）		
特記			
授業計画	1	Webサイト作成準備	31
	2	HTMLの基本	32
	3	HTML文書の設計	33
	4	共通ページから個別ページの作成（1）	34
	5	共通ページから個別ページの作成（2）	35
	6	CSSの基本（1）	36
	7	CSSの基本（2）	37
	8	CSSで共通部分をデザインする（1）	38
	9	CSSで共通部分をデザインする（2）	39
	10	コンテンツのデザインを整える（1）	40
	11	コンテンツのデザインを整える（2）	41
	12	スマートフォンに対応させる（1）	42
	13	スマートフォンに対応させる（2）	43
	14	Webサイトを公開する・機能追加	44
	15	効果測定 HTML/CSS	45
			46
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	JavaScript		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	JavaScript		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる		
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版]（技術評論社）		
特記			
授業計画	1	JavaScriptの基礎知識	31
	2	はじめてのプログラム（1）	32
	3	はじめてのプログラム（2）	33
	4	変数と演算について（1）	34
	5	変数と演算について（2）	35
	6	条件分岐（1）	36
	7	条件分岐（2）	37
	8	繰り返し（1）	38
	9	繰り返し（2）	39
	10	ユーザ定義関数の作成	40
	11	オブジェクトの操作（1）	41
	12	オブジェクトの操作（2）	42
	13	オブジェクトの操作（3）	43
	14	配列の基礎	44
	15	配列の操作	45
	16	効果測定 JavaScript(1)	46
	17	Webブラウザのオブジェクト（1）	47
	18	Webブラウザのオブジェクト（2）	48
	19	Webブラウザのオブジェクト（3）	49
	20	デジタル時計の作成	50
	21	イメージを操作する	51
	22	ユーザ定義オブジェクト	52
	23	DOMの操作（1）	53
	24	DOMの操作（2）	54
	25	DOMの操作（3）	55
	26	Ajax（1）	56
	27	Ajax（2）	57
	28	Ajax（3）	58
	29	Ajax（4）	59
	30	効果測定 JavaScript(2)	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	データベース		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる		
教科書	スッキリわかる SQL入門 第2版（インプレス）		
特記			
授業計画	1	初めてのSQL	31
	2	基本文法と4大命令	32
	3	操作する行の絞り込み(1)	33
	4	操作する行の絞り込み(2)	34
	5	検索結果の加工	35
	6	式と関数	36
	7	集計とグループ化	37
	8	副問い合わせ	38
	9	複数テーブルの問い合わせ	39
	10	トランザクション	40
	11	テーブルの作成	41
	12	さまざまな支援機能	42
	13	テーブルの設計(1)	43
	14	テーブルの設計(2)	44
	15	効果測定 データベース	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オブジェクト指向分析設計		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	60時間（2単位）		
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）		
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習		
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる		
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ（大学教育出版）		
特記			
授業計画	1	各種ツールの準備と・実習	31
	2	システム分析の本質	32
	3	図解技法の応用（例題と演習）	33
	4	演習（1）	34
	5	演習（2）	35
	6	システム分析・設計の手順	36
	7	UMLの基本（1）	37
	8	UMLの基本（2）	38
	9	システム分析の事例演習1-1	39
	10	システム分析の事例演習1-2	40
	11	システム分析の事例演習1-3	41
	12	システム分析の事例演習2-1	42
	13	システム分析の事例演習2-2	43
	14	システム分析の事例演習2-3	44
	15	効果測定 オブジェクト指向分析設計（1）	45
	16	システム分析の事例演習3-1	46
	17	システム分析の事例演習3-2	47
	18	システム分析の事例演習3-3	48
	19	UMLを用いたシステムの設計の基礎	49
	20	システム設計の事例演習1	50
	21	システム設計の事例演習2	51
	22	システム設計の事例演習3	52
	23	総合演習1	53
	24	総合演習2	54
	25	総合演習3	55
	26	総合演習4	56
	27	総合演習5	57
	28	総合演習6	58
	29	総合演習7	59
	30	効果測定 オブジェクト指向分析設計（2）	60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	アジャイルソフトウェア開発		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30時間（1単位）		
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）		
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計		
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習		
達成目標	アジャイルな開発体制に適応できる		
教科書	アジャイル開発への道案内（近代科学社）		
特記			
授業計画	1	アジャイル開発の現状と課題	31
	2	アジャイル開発の概要	32
	3	アジャイル開発の特徴	33
	4	アジャイル開発プロセス	34
	5	アジャイル開発の効果とリスク	35
	6	上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発	36
	7	アジャイル開発の事例	37
	8	まとめと演習	38
	9	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（1）	39
	10	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（2）	40
	11	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（3）	41
	12	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（4）	42
	13	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（5）	43
	14	事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計（6）	44
	15	効果測定 アジャイルソフトウェア開発	45
		46	
		47	
		48	
		49	
		50	
		51	
		52	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	
		59	
		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Java	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミング	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる	
教科書	新・明解Java入門（SBクリエイティブ）、Java8問題集（SCC Books）	
特記		
授業計画	1 はじめてのJava 2 変数を使う 3 制御構文・分岐（1） if文（1） 4 制御構文・分岐（2） if文（2） 5 制御構文・分岐（3） switch文 キーワード・識別子・演算子 6 制御構文・繰り返し（1） do-while文 7 制御構文・繰り返し（2） while文 8 制御構文・繰り返し（3） for文 9 制御構文・繰り返し（4） 10 基本型と演算 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 演習（1） 15 効果測定 Java（1） 16 メソッド（1） 17 メソッド（2） 18 メソッド（3） 19 クラスの基本（1） 20 クラスの基本（2） 21 日付クラスの作成（1） 22 日付クラスの作成（2） 23 クラス変数とクラスメソッド（1） 24 クラス変数とクラスメソッド（2） 25 クラス変数とクラスメソッド（3） 26 パッケージ 27 クラスの派生と多相姓（1） 28 クラスの派生と多相姓（1） 29 クラスの派生と多相姓（1） 30 効果測定 Java（2）	31 抽象クラス（1） 32 抽象クラス（2） 33 インタフェース（1） 34 インタフェース（1） 35 演習（2） 36 文字と文字列（1） 37 文字と文字列（2） 38 例外処理（1） 39 例外処理（2） 40 効果測定 Java（3） 41 総合演習 ようこそJavaの世界へ 42 総合演習 はじめてのJavaプログラム 43 総合演習 基本的なJavaプログラムの構造 44 総合演習 コンピュータで扱うデータ表現 45 総合演習 変数／定数と型 46 総合演習 演算と演算子 47 総合演習 配列の宣言・生成（1） 48 総合演習 配列の宣言・生成（2） 49 総合演習 制御文（1） 50 総合演習 制御文（2） 51 総合演習 クラスとオブジェクト（1） 52 総合演習 クラスとオブジェクト（2） 53 総合演習 クラスの関係を深める（1） 54 総合演習 クラスの関係を深める（2） 55 総合演習 クラスの継承（1） 56 総合演習 クラスの継承（2） 57 総合演習 例外処理（1） 58 総合演習 例外処理（2） 59 まとめ 60 効果測定 Java（4）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 応用的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	PHP	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる	
教科書	詳細！PHP7+MySQL 入門ノート（ソーテック社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 PHPの概要と準備 2 変数 3 演算子 4 制御構造・分岐文 5 制御構造・繰り返し文 6 関数（1） 7 関数（2） 8 文字列操作（1） 9 文字列操作（2） 10 文字列操作（3） 11 配列（1） 12 配列（2） 13 配列（3） 14 効果測定 PHP（1） 15 オブジェクト指向プログラミング（1） 16 オブジェクト指向プログラミング（2） 17 オブジェクト指向プログラミング（3） 18 オブジェクト指向プログラミング（4） 19 フォーム処理の基本（1） 20 フォーム処理の基本（2） 21 フォーム処理の基本（3） 22 各種フォームの使用（1） 23 各種フォームの使用（2） 24 各種フォームの使用（3） 25 各種フォームの使用（4） 26 セッションとクッキー（1） 27 セッションとクッキー（2） 28 セッションとクッキー（3） 29 効果測定 PHP（2） 30 ファイルの読み込みと書き出し（1）	31 ファイルの読み込みと書き出し（2） 32 ファイルの読み込みと書き出し（3） 33 phpMyAdminを使う（1） 34 phpMyAdminを使う（2） 35 MySQLを操作する（1） 36 MySQLを操作する（2） 37 MySQLを操作する（3） 38 MySQLを操作する（4） 39 総合演習（1） 40 総合演習（2） 41 総合演習（3） 42 総合演習（4） 43 総合演習（5） 44 総合演習（6） 45 効果測定 PHP（3）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択履修必須	
授業方法	講義	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験の基礎問題に正答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 アルゴリズム 1 2 アルゴリズム 1 3 問題演習 4 アルゴリズム 2 5 アルゴリズム 2 6 問題演習 7 アルゴリズム 3 8 アルゴリズム 3 9 問題演習 10 アルゴリズム 4 11 アルゴリズム 4 12 問題演習 13 CASL II 1 14 CASL II 1 15 問題演習 16 CASL II 2 17 CASL II 2 18 問題演習 19 CASL II 3 20 CASL II 3 21 問題演習 22 CASL II 4 23 CASL II 4 24 問題演習 25 CASL II 5 26 CASL II 5 27 問題演習 28 CASL II 6 29 CASL II 6 30 問題演習	31 知識の応用 1 32 知識の応用 1 33 問題演習 34 知識の応用 2 35 知識の応用 2 36 問題演習 37 知識の応用 3 38 知識の応用 3 39 問題演習 40 知識の応用 4 41 知識の応用 4 42 問題演習 43 知識の応用 5 44 知識の応用 5 45 問題演習 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	IT基礎知識IV	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択履修必須	
授業方法	演習	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義	
達成目標	基本情報技術者試験の午後科目試験に合格できるレベルに達する	
教科書	答案作成練習問題	
特記		
授業計画	1 項目別問題演習 1 2 項目別問題演習 1 3 項目別問題演習 1 4 項目別問題演習 2 5 項目別問題演習 2 6 項目別問題演習 2 7 項目別問題演習 3 8 項目別問題演習 3 9 項目別問題演習 3 10 復習・検証問題演習 11 復習・検証問題演習 12 復習・検証問題演習 13 項目別問題演習 4 14 項目別問題演習 4 15 項目別問題演習 4 16 項目別問題演習 5 17 項目別問題演習 5 18 項目別問題演習 5 19 項目別問題演習 6 20 項目別問題演習 6 21 項目別問題演習 6 22 項目別問題演習 7 23 項目別問題演習 7 24 項目別問題演習 7 25 項目別問題演習 8 26 項目別問題演習 8 27 項目別問題演習 8 28 復習・検証問題演習 29 復習・検証問題演習 30 復習・検証問題演習	31 項目別問題演習 9 32 項目別問題演習 9 33 項目別問題演習 9 34 項目別問題演習 10 35 項目別問題演習 10 36 項目別問題演習 10 37 項目別問題演習 11 38 項目別問題演習 11 39 項目別問題演習 11 40 復習・検証問題演習 41 復習・検証問題演習 42 復習・検証問題演習 43 過去問題演習 1 44 過去問題演習 1 45 過去問題演習 1 46 過去問題演習 2 47 過去問題演習 2 48 過去問題演習 2 49 過去問題演習 3 50 過去問題演習 3 51 過去問題演習 3 52 過去問題演習 4 53 過去問題演習 4 54 過去問題演習 4 55 過去問題演習 5 56 過去問題演習 5 57 過去問題演習 5 58 公開模擬試験 59 公開模擬試験 60 公開模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Python	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択履修必須	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	Python3の基本文法とプログラムの実装	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる	
教科書	新・明解 Python入門（SBクリエイティブ）	
特記		
授業計画	1 Pythonをはじめる 2 画面への表示とキーボードからの入力 3 制御・条件分岐（1） 4 制御・条件分岐（2） 5 制御・条件分岐（3） 6 プログラムの構成要素 7 制御・繰り返し（1） 8 制御・繰り返し（2） 9 制御・繰り返し（3） 10 オブジェクトと型（1） 11 オブジェクトと型（2） 12 文字列の基礎 13 文字列の操作 14 文字列の書式化 15 効果測定 Python（1） 16 リスト（1） 17 リスト（2） 18 リスト（3） 19 リスト（4） 20 タプル 21 辞書 22 集合 23 関数の基礎（1） 24 関数の基礎（2） 25 文書化文字列とアノテーション 26 名前空間とスコープ 27 高階関数とラムダ式 28 モジュール 29 パッケージ 30 効果測定 Python（2）	31 クラス（1） 32 クラス（2） 33 クラス変数とクラスメソッド 34 継承（1） 35 継承（2） 36 例外処理（1） 37 例外処理（2） 38 ファイル処理の基礎（1） 39 ファイル処理の基礎（2） 40 バイナリファイル 41 総合演習（1） 42 総合演習（2） 43 総合演習（3） 44 総合演習（4） 45 効果測定 Python（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フロントエンドフレームワーク	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択履修必須	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる	
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門（翔泳社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 Vue.jsの概要 2 Vue.jsのインストール方法と実行 3 データを表示する 4 属性を指定する 5 演習（1） 6 ユーザの入力をつなぐ（1） 7 ユーザの入力をつなぐ（2） 8 ユーザの入力をつなぐ（3） 9 ユーザの入力をつなぐ（4） 10 演習（2） 11 ユーザの操作をつなぐ（1） 12 ユーザの操作をつなぐ（2） 13 ユーザの操作をつなぐ（3） 14 演習（3） 15 効果測定 フロントエンドフレームワーク（1） 16 条件と繰り返しを使う（1） 17 条件と繰り返しを使う（2） 18 条件と繰り返しを使う（3） 19 条件と繰り返しを使う（4） 20 演習（4） 21 Google Chartsと連動させる 22 データの変化を監視する（1） 23 データの変化を監視する（2） 24 演習（5） 25 データの変化を監視する（3） 26 データの変化を監視する（4） 27 演習（6） 28 Markdownエディタを作る 29 総合演習 30 効果測定 フロントエンドフレームワーク（2）	31 アニメーションを表示する（1） 32 アニメーションを表示する（2） 33 演習（7） 34 Vue.jsでToDoリストを作る（1） 35 Vue.jsでToDoリストを作る（2） 36 演習（8） 37 部品にまとめる：コンポーネント（1） 38 部品にまとめる：コンポーネント（2） 39 部品にまとめる：コンポーネント（3） 40 部品にまとめる：コンポーネント（4） 41 演習（9） 42 JSONデータを表示させる（1） 43 JSONデータを表示させる（2） 44 JSONデータを表示させる（3） 45 効果測定 フロントエンドフレームワーク（3）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	サーバサイドフレームワーク	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 システム開発コース	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択履修必須	
授業方法	実習	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	PHPサーバサイドフレームワークLaravelを使用したサーバサイドアプリケーションの作成	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる	
教科書	PHPフレームワーク Laravel入門（秀和システム）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 Laravelを準備する 2 ルーティングとコントローラ（1） 3 ルーティングとコントローラ（2） 4 ルーティングとコントローラ（3） 5 演習（1） 6 ビューとテンプレート（1） 7 ビューとテンプレート（2） 8 ビューとテンプレート（3） 9 ビューとテンプレート（4） 10 演習（2） 11 リクエスト・レスポンスを補完する（1） 12 リクエスト・レスポンスを補完する（2） 13 リクエスト・レスポンスを補完する（3） 14 リクエスト・レスポンスを補完する（4） 15 リクエスト・レスポンスを補完する（5） 16 効果測定 サーバサイドフレームワーク（1） 17 データベースの利用（1） 18 データベースの利用（2） 19 データベースの利用（3） 20 データベースの利用（4） 21 演習（3） 22 Eloquent ORM（1） 23 Eloquent ORM（2） 24 Eloquent ORM（3） 25 Eloquent ORM（4） 26 Eloquent ORM（5） 27 演習（4） 28 Restfulサービス（1） 29 Restfulサービス（2） 30 Restfulサービス（3）	31 Restfulサービス（4） 32 Restfulサービス（5） 33 効果測定 サーバサイドフレームワーク（2） 34 サーバサイドアプリ構築演習（1） 35 サーバサイドアプリ構築演習（2） 36 サーバサイドアプリ構築演習（3） 37 サーバサイドアプリ構築演習（4） 38 サーバサイドアプリ構築演習（5） 39 サーバサイドアプリ構築演習（6） 40 サーバサイドアプリ構築演習（7） 41 サーバサイドアプリ構築演習（8） 42 サーバサイドアプリ構築演習（9） 43 サーバサイドアプリ構築演習（10） 44 サーバサイドアプリ構築演習（11） 45 効果測定 サーバサイドフレームワーク（3） 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を90点以上「秀」、80点～89点「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	一般常識		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける		
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する		
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する		
教科書	問題集・プリント		
特記			
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1	31
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2	32
	3	訓読み・送り仮名・熟語 3	33
	4	同音異義・異字同訓 1	34
	5	同音異義・異字同訓 2	35
	6	誤字訂正、類義語・反対語 1	36
	7	誤字訂正、類義語・反対語 2	37
	8	漢字の意味・使い方 1	38
	9	漢字の意味・使い方 2	39
	10	漢字の意味・使い方 3	40
	11	ことわざ・故事成語・慣用句 1	41
	12	ことわざ・故事成語・慣用句 2	42
	13	ことわざ・故事成語・慣用句 3	43
	14	特殊な漢字の読み書き 1	44
	15	特殊な漢字の読み書き 2	45
	16	特殊な漢字の読み書き 3	46
	17	項目別模擬試験 1	47
	18	項目別模擬試験 2	48
	19	直前模擬試験 1	49
	20	直前模擬試験 2	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	時事対策		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	用語知識①	31
	2	用語知識②	32
	3	用語知識③	33
	4	用語知識④	34
	5	用語知識⑤	35
	6	用語知識⑥	36
	7	用語知識⑦	37
	8	考え方①	38
	9	考え方②	39
	10	考え方③	40
	11	考え方④	41
	12	考え方⑤	42
	13	発表①	43
	14	発表②	44
	15	発表③	45
	16	発表④	46
	17	個人研究①	47
	18	個人研究②	48
	19	個人研究③	49
	20	個人研究④	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	電卓技能		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う		
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する		
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する		
教科書	検定対策テキストおよび問題集		
特記			
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意	31
	2	電卓実践演習1	32
	3	電卓実践演習2	33
	4	電卓実践演習3	34
	5	電卓実践演習4	35
	6	電卓実践演習5	36
	7	電卓実践演習6	37
	8	電卓実践演習7	38
	9	電卓実践演習8	39
	10	電卓実践演習9	40
	11	電卓実践演習10	41
	12	電卓実践演習11	42
	13	電卓実践演習12	43
	14	電卓実践演習13	44
	15	電卓実践演習14	45
	16	電卓実践演習15	46
	17	電卓実践演習16	47
	18	電卓実践演習17	48
	19	電卓実践演習18	49
	20	電卓実践演習19	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	マナー接遇基礎		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	職場での心構え①	31
	2	職場での心構え②	32
	3	職場での心構え③	33
	4	職場に必要な能力①	34
	5	職場に必要な能力②	35
	6	職場に必要な能力③	36
	7	職場の役割と機能①	37
	8	職場の役割と機能②	38
	9	職場の役割と機能③	39
	10	秘書の職務①	40
	11	秘書の職務②	41
	12	秘書の職務③	42
	13	企業の基礎知識①	43
	14	企業の基礎知識②	44
	15	企業の基礎知識③	45
	16	企業組織の活動①	46
	17	企業組織の活動②	47
	18	社会常識①	48
	19	社会常識②	49
	20	社会常識③	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識を理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 職場での心構え① 2 職場での心構え② 3 職場での心構え③ 4 職場での心構え④ 5 職場での心構え⑤ 6 職場に必要な能力① 7 職場に必要な能力② 8 職場に必要な能力③ 9 職場に必要な能力④ 10 職場に必要な能力⑤ 11 職場に必要な能力⑥ 12 職場に必要な能力⑦ 13 職場に必要な能力⑧ 14 職場に必要な能力⑨ 15 職場に必要な能力⑩ 16 職場の役割と機能① 17 職場の役割と機能② 18 職場の役割と機能③ 19 職場の役割と機能④ 20 職場の役割と機能⑤ 21 秘書の職務① 22 秘書の職務② 23 秘書の職務③ 24 秘書の職務④ 25 秘書の職務⑤ 26 企業の基礎知識① 27 企業の基礎知識② 28 企業の基礎知識③ 29 企業の基礎知識④ 30 企業の基礎知識⑤	31 企業の基礎知識⑥ 32 企業の基礎知識⑦ 33 企業の基礎知識⑧ 34 企業の基礎知識⑨ 35 企業の基礎知識⑩ 36 企業組織の活動① 37 企業組織の活動② 38 社会常識① 39 社会常識② 40 社会常識③ 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マナー接遇応用	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	職場でのマナー・技能を理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	職場での電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 人間関係と話し方・聞き方① 2 人間関係と話し方・聞き方② 3 人間関係と話し方・聞き方③ 4 人間関係と話し方・聞き方④ 5 人間関係と話し方・聞き方⑤ 6 敬語と接遇用語① 7 敬語と接遇用語② 8 敬語と接遇用語③ 9 敬語と接遇用語④ 10 敬語と接遇用語⑤ 11 電話応対① 12 電話応対② 13 電話応対③ 14 電話応対④ 15 電話応対⑤ 16 来客対応① 17 来客対応② 18 来客対応③ 19 来客対応④ 20 来客対応⑤ 21 交際業務① 22 交際業務② 23 交際業務③ 24 交際業務④ 25 交際業務⑤ 26 ビジネス文書の作成① 27 ビジネス文書の作成② 28 ビジネス文書の作成③ 29 ビジネス文書の作成④ 30 ビジネス文書の作成⑤	31 文書・資料管理① 32 文書・資料管理② 33 文書・資料管理③ 34 文書・資料管理④ 35 日程管理① 36 日程管理② 37 日程管理③ 38 日程管理④ 39 環境整備① 40 環境整備② 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アプリケーションソフト実習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	Officeソフトの基本を身に付けることを目的とし就職活動で必要とされる資料作成を通じて実践的なトレーニングを行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により効果的な使用方法を習得する	
達成目標	MOS Word Excelレベルの操作を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 Wordの構成要素 2 文書の作成と管理 3 練習問題演習 4 一般的にビジネス文書の作成 5 練習問題演習 6 レポートや報告書の作成 7 練習問題演習 8 表、画像、図形を使った文書作成 9 練習問題演習 10 効果測定 11 Excelの構成要素 12 表作成の基本操作 13 練習問題演習 14 数式・関数を活用した集計表の作成 15 練習問題演習 16 見やすく使いやすい表にする編集操作 17 練習問題演習① 18 練習問題演習② 19 練習問題演習③ 20 効果測定 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	基本情報技術者試験対策		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	IT基礎知識の学習：テクノロジー系、マネジメント系、ストラテジ系		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義		
達成目標	基本情報技術者試験の午前科目試験に合格できるレベルに達する		
教科書	答案練習問題		
特記			
授業計画	1	総合問題演習1	31
	2	総合問題演習2	32
	3	総合問題演習3	33
	4	総合問題演習4	34
	5	総合問題演習5	35
	6	総合問題演習6	36
	7	総合問題演習7	37
	8	総合問題演習8	38
	9	総合問題演習9	39
	10	総合問題演習10	40
	11	総合問題演習11	41
	12	直前対策問題演習 1	42
	13	直前対策問題演習 1	43
	14	直前対策問題演習 1	44
	15	直前対策問題演習 2	45
	16	直前対策問題演習 2	46
	17	直前対策問題演習 2	47
	18	直前対策問題演習 3	48
	19	直前対策問題演習 3	49
	20	直前対策問題演習 3	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラム言語実習 I	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	HTML/CSS	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	HTML/CSSを使用してWebページの作成ができる	
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本（インプレス）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 Webサイト作成準備 2 HTMLの基本 3 HTML文書の設計 4 共通ページから個別ページの作成（1） 5 共通ページから個別ページの作成（2） 6 共通ページから個別ページの作成（3） 7 CSSの基本（1） 8 CSSの基本（2） 9 CSSの基本（3） 10 CSSで共通部分をデザインする（1） 11 CSSで共通部分をデザインする（2） 12 CSSで共通部分をデザインする（3） 13 コンテンツのデザインを整える（1） 14 コンテンツのデザインを整える（2） 15 コンテンツのデザインを整える（3） 16 スマートフォンに対応させる（1） 17 スマートフォンに対応させる（2） 18 スマートフォンに対応させる（3） 19 Webサイトを公開する・機能追加 20 効果測定 HTML/CSS 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラム言語実習Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	JavaScript	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる	
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門[改訂2版]（技術評論社）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 JavaScriptの基礎知識 2 はじめてのプログラム（1） 3 はじめてのプログラム（2） 4 変数と演算について（1） 5 変数と演算について（2） 6 条件分岐（1） 7 条件分岐（2） 8 繰り返し（1） 9 繰り返し（2） 10 ユーザ定義関数の作成 11 オブジェクトの操作（1） 12 オブジェクトの操作（2） 13 オブジェクトの操作（3） 14 配列の基礎 15 配列の操作 16 効果測定 JavaScript(1) 17 Webブラウザのオブジェクト（1） 18 Webブラウザのオブジェクト（2） 19 Webブラウザのオブジェクト（3） 20 Webブラウザのオブジェクト（4） 21 Webブラウザのオブジェクト（5） 22 Webブラウザのオブジェクト（6） 23 デジタル時計の作成（1） 24 デジタル時計の作成（2） 25 イメージを操作する（1） 26 イメージを操作する（2） 27 ユーザ定義オブジェクト（1） 28 ユーザ定義オブジェクト（2） 29 DOMの操作（1） 30 DOMの操作（2）	31 DOMの操作（3） 32 DOMの操作（4） 33 DOMの操作（5） 34 Ajax（1） 35 Ajax（2） 36 Ajax（3） 37 Ajax（4） 38 Ajax（5） 39 Ajax（6） 40 効果測定 JavaScript(2) 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	システム開発 I	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計の実習	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎から応用までの実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる	
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ（大学教育出版）	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 各種ツールの準備と・実習 2 システム分析の本質 3 図解技法の応用（例題と演習） 4 演習（1） 5 演習（2） 6 システム分析・設計の手順 7 UMLの基本（1） 8 UMLの基本（2） 9 システム分析の事例演習1-1 10 システム分析の事例演習1-2 11 システム分析の事例演習1-3 12 システム分析の事例演習2-1 13 システム分析の事例演習2-2 14 システム分析の事例演習2-3 15 システム分析の事例演習2-4 16 システム分析の事例演習3-1 17 システム分析の事例演習3-2 18 システム分析の事例演習3-3 19 UMLを用いたシステムの設計の基礎 20 効果測定 オブジェクト指向分析設計 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	プレゼンテーション概論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	企画から発表までの一連の流れ		
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る		
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か	31
	2	プレゼンテーションの種類	32
	3	企画①	33
	4	企画②	34
	5	企画③	35
	6	情報収集①	36
	7	情報収集②	37
	8	情報収集③	38
	9	シナリオ作成①	39
	10	シナリオ作成②	40
	11	シナリオ作成③	41
	12	コンテンツ作成①	42
	13	コンテンツ作成②	43
	14	話し方	44
	15	発表練習①	45
	16	発表練習②	46
	17	発表練習③	47
	18	発表練習④	48
	19	発表練習⑤	49
	20	発表	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オフィス基礎		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①	31
	2	ワークシートやブックの作成と管理②	32
	3	セルやセル範囲のデータの管理①	33
	4	セルやセル範囲のデータの管理②	34
	5	テーブルの作成①	35
	6	テーブルの作成②	36
	7	テーブルの作成③	37
	8	関数を使用してのデータ集計①	38
	9	関数を使用してのデータ集計②	39
	10	関数を使用してのデータ集計③	40
	11	関数を使用しての条件付き計算④	41
	12	関数を使用しての条件付き計算⑤	42
	13	関数を使用しての条件付き計算⑥	43
	14	関数を使用した文字列の整形や変更①	44
	15	関数を使用した文字列の整形や変更②	45
	16	関数を使用した文字列の整形や変更③	46
	17	グラフの作成①	47
	18	グラフの作成②	48
	19	グラフの作成③	49
	20	グラフの作成④	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	オフィス活用			
実務家教員				
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	80時間			
授業コマ数	40コマ			
授業概要	ビジネスで活用できる操作能力を身に付けることを目的とする。会計データ作成などより実務に役立つ能力を身に付ける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習操作を行い、より高度な操作定着を図る			
達成目標	学習したパソコンスキルを活かし、テーマに合わせた資料作成・企画案作成・プレゼンテーションの実施			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	新規プレゼンテーションの作成と編集①	31	企画立案①
	2	新規プレゼンテーションの作成と編集②	32	企画立案②
	3	新規プレゼンテーションの作成と編集③	33	企画立案③
	4	新規プレゼンテーションの作成と編集④	34	企画立案④
	5	新規プレゼンテーションの作成と編集⑤	35	企画立案⑤
	6	新規プレゼンテーションの作成と編集⑥	36	企画書の作成①
	7	新規プレゼンテーションの作成と編集⑦	37	企画書の作成②
	8	新規プレゼンテーションの作成と編集⑧	38	企画書の作成③
	9	新規プレゼンテーションの作成と編集⑨	39	企画書の作成④
	10	新規プレゼンテーションの作成と編集⑩	40	企画発表（効果測定）
	11	テキスト・図形・画像の挿入と編集①	41	
	12	テキスト・図形・画像の挿入と編集②	42	
	13	テキスト・図形・画像の挿入と編集③	43	
	14	テキスト・図形・画像の挿入と編集④	44	
	15	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑤	45	
	16	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑥	46	
	17	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑦	47	
	18	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑧	48	
	19	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑨	49	
	20	テキスト・図形・画像の挿入と編集⑩	50	
	21	表・グラフ・SmartArt、メディアの挿入と設定①	51	
	22	表・グラフ・SmartArt、メディアの挿入と設定②	52	
	23	表・グラフ・SmartArt、メディアの挿入と設定③	53	
	24	表・グラフ・SmartArt、メディアの挿入と設定④	54	
	25	表・グラフ・SmartArt、メディアの挿入と設定⑤	55	
	26	特殊効果の設定とスライドショー①	56	
	27	特殊効果の設定とスライドショー②	57	
	28	特殊効果の設定とスライドショー③	58	
	29	特殊効果の設定とスライドショー④	59	
	30	特殊効果の設定とスライドショー⑤	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	1学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるためのトレーニング	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 グラフの書式設定① 2 グラフの書式設定② 3 グラフの書式設定③ 4 グラフの書式設定④ 5 グラフの書式設定⑤ 6 オブジェクトの挿入や書式設定① 7 オブジェクトの挿入や書式設定② 8 オブジェクトの挿入や書式設定③ 9 オブジェクトの挿入や書式設定④ 10 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 11 オブジェクトの挿入や書式設定⑥ 12 ワークシートやブックの作成と管理 13 セルやセル範囲のデータの管理 14 テーブルの作成 15 テーブルの作成 16 関数を使用するデータの集計① 17 関数を使用するデータの集計② 18 関数を使用する条件付き計算① 19 関数を使用する条件付き計算② 20 関数を使用する条件付き計算③ 21 関数を使用した文字列の整形や変更① 22 関数を使用した文字列の整形や変更② 23 グラフの作成① 24 グラフの作成② 25 グラフの作成③ 26 グラフの作成④ 27 グラフの作成⑤ 28 グラフの作成⑥ 29 グラフの書式設定① 30 グラフの書式設定②	31 グラフの書式設定③ 32 グラフの書式設定④ 33 グラフの書式設定⑤ 34 オブジェクトの挿入や書式設定① 35 オブジェクトの挿入や書式設定② 36 オブジェクトの挿入や書式設定③ 37 オブジェクトの挿入や書式設定④ 38 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 39 オブジェクトの挿入や書式設定⑥ 40 オブジェクトの挿入や書式設定⑦ 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	金融商品論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	ファイナンシャルプランニングの知識習得を目的とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	金融商品および運用方法について知識を有する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	金資産運用①	31
	2	金資産運用②	32
	3	マーケット環境①	33
	4	マーケット環境②	34
	5	預貯金・金融類似商品等①	35
	6	預貯金・金融類似商品等②	36
	7	投資信託（株式）	37
	8	投資信託（債券）	38
	9	債券資産①	39
	10	債券資産②	40
	11	特殊投資①	41
	12	特殊投資②	42
	13	外貨建商品①	43
	14	外貨建商品②	44
	15	保険商品①	45
	16	保険商品②	46
	17	金融派生商品	47
	18	ポートフォリオ運用	48
	19	金融商品と税金①	49
	20	金融商品と税金②	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	金融概論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	ファイナンシャルプランニングの知識習得を目的とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	ライフプランニング策定や資金計画の策定ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31
	2	ライフプランニングと資金計画②	32
	3	ライフプランニングと資金計画③	33
	4	ライフプランニングと資金計画④	34
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35
	6	関連法規①	36
	7	関連法規②	37
	8	関連法規③	38
	9	関連法規④	39
	10	関連法規⑤	40
	11	ライフプランニングの考え方、手法①	41
	12	ライフプランニングの考え方、手法②	42
	13	ライフプランニングの考え方、手法③	43
	14	ライフプランニングの考え方、手法④	44
	15	ライフプランニングの考え方、手法⑤	45
	16	リスク管理①	46
	17	リスク管理②	47
	18	リスク管理③	48
	19	リスク管理④	49
	20	リスク管理⑤	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%。科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法概論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	ファイナンシャルプランニングの知識習得を目的とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	相続、贈与の関連法規や財産評価の知識習得		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	贈与と法律①	31
	2	贈与と法律②	32
	3	贈与と税金①	33
	4	贈与と税金②	34
	5	相続と法律①	35
	6	相続と法律②	36
	7	相続と税金①	37
	8	相続と税金②	38
	9	相続財産の評価（不動産を除く）①	39
	10	相続財産の評価（不動産を除く）②	40
	11	相続財産の評価（不動産）①	41
	12	相続財産の評価（不動産）②	42
	13	不動産の相続対策①	43
	14	不動産の相続対策②	44
	15	相続と保険の活用①	45
	16	相続と保険の活用②	46
	17	事業継承対策①	47
	18	事業継承対策②	48
	19	事業と経営①	49
	20	事業と経営②	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	所得税法基礎論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	ファイナンシャルプランニングの知識習得を目的とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	所得税法を中心とした仕組みを理解している		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	タックスプランニング①	31
	2	タックスプランニング②	32
	3	わが国の税制①	33
	4	わが国の税制②	34
	5	所得税の仕組み①	35
	6	所得税の仕組み②	36
	7	各種所得の内容①	37
	8	各種所得の内容②	38
	9	損益通算①	39
	10	損益通算②	40
	11	所得控除①	41
	12	所得控除②	42
	13	税額控除①	43
	14	税額控除②	44
	15	所得税の申告と納付①	45
	16	所得税の申告と納付②	46
	17	個人事業税①	47
	18	個人事業税②	48
	19	個人住民税①	49
	20	個人住民税②	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	社会保険基礎論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	ファイナンシャルプランニングの知識習得を目的とする		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	社会保険・公的年金・企業年金などの制度と仕組みの理解		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	社会保険①	31
	2	社会保険②	32
	3	公的年金①	33
	4	公的年金②	34
	5	企業・個人年金①	35
	6	企業・個人年金②	36
	7	年金と税金①	37
	8	年金と税金②	38
	9	ライフプラン策定上の資金計画①	39
	10	ライフプラン策定上の資金計画②	40
	11	保険制度全般①	41
	12	保険制度全般②	42
	13	生命保険①	43
	14	生命保険②	44
	15	損害保険①	45
	16	損害保険②	46
	17	第三分野の保険①	47
	18	第三分野の保険②	48
	19	リスク管理と保険①	49
	20	リスク管理と保険②	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラム言語論	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	200時間	
授業コマ数	100コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成 システム開発におけるロバストネス図の作成、シーケンス図の作成 システム開発におけるシーケンス図の作成、ソースコードの作成	
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図を完成させる ロバストネス図の完成 シーケンス図の作成	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 業界研究1 2 業界研究2 3 業界研究3 4 企画立案1 5 企画立案2 6 企画立案3 7 企画立案4 8 企画立案5 9 企画立案6 10 企画書の作成1 11 企画書の作成2 12 企画書の作成3 13 企画書の作成4 14 中間発表準備1 15 中間発表準備2 16 中間発表準備3 17 中間発表1 18 ドメインモデリングの理論 19 ドメインモデリングの実践 20 ドメインモデリング分析1 21 ドメインモデリング分析2 22 ユースケースモデリングの理論 23 ユースケースモデリングの実践 24 ユースケースモデリング分析1 25 ユースケースモデリング分析2 26 ユースケースモデリング分析3 27 ユースケースモデリング分析4 28 ユースケースモデリング分析5 29 ユースケースモデリング分析6 30 ユースケースモデリング分析7	31 ユースケースモデリング分析8 32 ユースケースモデリング分析9 33 ユースケースモデリング分析10 34 ユースケースモデリング分析11 35 ユースケースモデリング分析12 36 ユースケースモデリング分析13 37 ユースケースモデリング分析14 38 要求レビューの理論 39 要求レビューの実践 40 要求レビュー1 41 要求レビュー2 42 要求レビュー3 43 要求レビュー4 44 要求レビュー5 45 中間発表準備1 46 中間発表準備2 47 中間発表準備3 48 中間発表準備4 49 中間発表2 50 シーケンス図作成1 51 シーケンス図作成2 52 シーケンス図作成3 53 シーケンス図作成4 54 シーケンス図作成5 55 シーケンス図作成6 56 シーケンス図作成7 57 シーケンス図作成8 58 シーケンス図作成9 59 シーケンス図作成10 60 シーケンス図作成11
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する講評	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラム言語論	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	200時間	
授業コマ数	100コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成 システム開発におけるロバストネス図の作成、シーケンス図の作成 システム開発におけるシーケンス図の作成、ソースコードの作成	
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図を完成させる ロバストネス図の完成 シーケンス図の作成	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	61 シーケンス図作成1 2 62 シーケンス図作成1 3 63 シーケンス図作成1 4 64 シーケンス図作成1 5 65 シーケンス図作成1 6 66 ロバストネス図作成1 67 ロバストネス図作成2 68 ロバストネス図作成3 69 ロバストネス図作成4 70 ロバストネス図作成5 71 ロバストネス図作成6 72 ロバストネス図作成7 73 ロバストネス図作成8 74 ロバストネス図作成9 75 ロバストネス図作成1 0 76 ロバストネス図作成1 1 77 ロバストネス図作成1 2 78 ロバストネス図作成1 3 79 ロバストネス図作成1 4 80 ロバストネス図作成1 5 81 ロバストネス図作成1 6 82 詳細設計レビューの理論 83 詳細設計レビューの実践 84 詳細設計レビュー1 85 詳細設計レビュー2 86 詳細設計レビュー3 87 詳細設計レビュー4 88 詳細設計レビュー5 89 詳細設計レビュー6 90 詳細設計レビュー7	91 詳細設計レビュー8 92 詳細設計レビュー9 93 詳細設計レビュー1 0 94 詳細設計からコードへ 95 実装の実践 96 プログラミング(開発)1 97 プログラミング(開発)2 98 プログラミング(開発)3 99 プログラミング(開発)4 100 プログラミング(開発)5 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する講評	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	システム設計開発論	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践	
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	ソースコードの作成、テストの実践	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	1 プログラミング(開発) 1 2 プログラミング(開発) 2 3 プログラミング(開発) 3 4 プログラミング(開発) 4 5 プログラミング(開発) 5 6 プログラミング(開発) 6 7 プログラミング(開発) 7 8 プログラミング(開発) 8 9 プログラミング(開発) 9 10 プログラミング(開発) 10 11 プログラミング(開発) 11 12 プログラミング(開発) 12 13 プログラミング(開発) 13 14 プログラミング(開発) 14 15 プログラミング(開発) 15 16 プログラミング(開発) 16 17 プログラミング(開発) 17 18 プログラミング(開発) 18 19 プログラミング(開発) 19 20 プログラミング(開発) 20 21 プログラミング(開発) 21 22 プログラミング(開発) 22 23 プログラミング(開発) 23 24 プログラミング(開発) 24 25 プログラミング(開発) 25 26 プログラミング(開発) 26 27 プログラミング(開発) 27 28 プログラミング(開発) 28 29 プログラミング(開発) 29 30 プログラミング(開発) 30	31 プログラミング(開発) 31 32 プログラミング(開発) 32 33 プログラミング(開発) 33 34 プログラミング(開発) 34 35 プログラミング(開発) 35 36 プログラミング(開発) 36 37 プログラミング(開発) 37 38 プログラミング(開発) 38 39 プログラミング(開発) 39 40 プログラミング(開発) 40 41 プログラミング(開発) 41 42 プログラミング(開発) 42 43 プログラミング(開発) 43 44 プログラミング(開発) 44 45 プログラミング(開発) 45 46 プログラミング(開発) 46 47 プログラミング(開発) 47 48 プログラミング(開発) 48 49 プログラミング(開発) 49 50 プログラミング(開発) 50 51 プログラミング(開発) 51 52 プログラミング(開発) 52 53 プログラミング(開発) 53 54 プログラミング(開発) 54 55 プログラミング(開発) 55 56 プログラミング(開発) 56 57 プログラミング(開発) 57 58 プログラミング(開発) 58 59 プログラミング(開発) 59 60 プログラミング(開発) 60
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する講評	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	システム設計開発論	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	240時間	
授業コマ数	120コマ	
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成、テストの実践	
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	ソースコードの作成、テストの実践	
教科書	履修済科目で使用した教科書複数	
特記	一般企業にてシステムエンジニアとして従事していた経験のある職員が、実務の経験に沿った内容をもとに授業を行う。	
授業計画	61 卒業研究発表会準備 1 62 卒業研究発表会準備 2 63 卒業研究発表会準備 3 64 卒業研究発表会準備 4 65 卒業研究発表会 66 プログラミング(開発) 1 67 プログラミング(開発) 2 68 プログラミング(開発) 3 69 プログラミング(開発) 4 70 プログラミング(開発) 5 71 プログラミング(開発) 6 72 プログラミング(開発) 7 73 プログラミング(開発) 8 74 プログラミング(開発) 9 75 プログラミング(開発) 10 76 プログラミング(開発) 11 77 プログラミング(開発) 12 78 プログラミング(開発) 13 79 プログラミング(開発) 14 80 プログラミング(開発) 15 81 プログラミング(開発) 16 82 プログラミング(開発) 17 83 プログラミング(開発) 18 84 プログラミング(開発) 19 85 プログラミング(開発) 20 86 設計駆動テストの理論 87 設計駆動テストの実践 88 テストの実施 1 89 テストの実施 2 90 テストの実施 3	91 テストの実践 4 92 テストの実践 5 93 テストの実践 6 94 テストの実践 7 95 テストの実践 8 96 テストの実践 9 97 テストの実践 10 98 テストの実践 11 99 テストの実践 12 100 テストの実践 13 101 テストの実践 14 102 テストの実践 15 103 テストの実践 16 104 プログラミングコンテスト準備 1 105 プログラミングコンテスト準備 2 106 プログラミングコンテスト準備 3 107 プログラミングコンテスト準備 4 108 プログラミングコンテスト準備 5 109 プログラミングコンテスト準備 6 110 プログラミングコンテスト準備 7 111 プログラミングコンテスト準備 8 112 プログラミングコンテスト 1 113 プログラミングコンテスト 2 114 プログラミングコンテスト 3 115 プログラミングコンテスト 4 116 プログラミングコンテスト 5 117 プログラミングコンテスト 6 118 プログラミングコンテスト 7 119 プログラミングコンテスト 8 120 卒業研究振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する講評	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	マーケティング概論		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	顧客満足①	31
	2	顧客満足②	32
	3	顧客満足③	33
	4	マーケティングの必要性①	34
	5	マーケティングの必要性②	35
	6	マーケティングの必要性③	36
	7	情報収集と分析①	37
	8	情報収集と分析②	38
	9	情報収集と分析③	39
	10	流通チャネル①	40
	11	流通チャネル②	41
	12	流通チャネル③	42
	13	プロモーション①	43
	14	プロモーション②	44
	15	プロモーション③	45
	16	財務知識①	46
	17	財務知識②	47
	18	事例研究①	48
	19	事例研究②	49
	20	事例研究③	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	マーケティング研究		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習・実習する		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	店舗データの理解①	31
	2	店舗データの理解②	32
	3	マーケティングの流れ①	33
	4	マーケティングの流れ②	34
	5	売上構成分析①	35
	6	売上構成分析②	36
	7	来店客分析①	37
	8	来店客分析②	38
	9	商品分析①	39
	10	商品分析②	40
	11	費用分析①	41
	12	費用分析②	42
	13	課題抽出①	43
	14	課題抽出②	44
	15	アンケート調査分析①	45
	16	アンケート調査分析②	46
	17	企画作成①	47
	18	企画作成②	48
	19	企画作成③	49
	20	企画作成④	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング実習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	160時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する実習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 業界分析① 2 業界分析② 3 業界分析③ 4 業界分析④ 5 情報収集① 6 情報収集② 7 情報収集③ 8 情報収集④ 9 情報収集⑤ 10 情報収集⑥ 11 情報収集⑦ 12 情報収集⑧ 13 店舗分析① 14 店舗分析② 15 店舗分析③ 16 店舗分析④ 17 店舗分析⑤ 18 店舗分析⑥ 19 店舗分析⑦ 20 店舗分析⑧ 21 店舗見学① 22 店舗見学② 23 店舗見学③ 24 店舗見学④ 25 店舗見学⑤ 26 店舗見学⑥ 27 店舗見学⑦ 28 店舗見学⑧ 29 課題抽出① 30 課題抽出②	31 課題抽出③ 32 課題抽出④ 33 課題抽出⑤ 34 課題抽出⑥ 35 課題抽出⑦ 36 課題抽出⑧ 37 仮説① 38 仮説② 39 仮説③ 40 仮説④ 41 仮説⑤ 42 仮説⑥ 43 仮説⑦ 44 仮説⑧ 45 調査・検証① 46 調査・検証② 47 調査・検証③ 48 調査・検証④ 49 調査・検証⑤ 50 調査・検証⑥ 51 調査・検証⑦ 52 調査・検証⑧ 53 調査・検証⑨ 54 調査・検証⑩ 55 企画案作成① 56 企画案作成② 57 企画案作成③ 58 企画案作成④ 59 企画案作成⑤ 60 企画案作成⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング実習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	160時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する実習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	61 企画案作成⑦ 62 企画案作成⑧ 63 企画案作成⑨ 64 企画案作成⑩ 65 中間発表① 66 中間発表② 67 中間発表③ 68 中間発表④ 69 中間発表⑤ 70 再検証① 71 再検証② 72 再検証③ 73 再検証④ 74 再検証⑤ 75 再検証⑥ 76 最終発表① 77 最終発表② 78 最終発表③ 79 最終発表④ 80 最終発表⑤ 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90	91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理事務総合	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	実務で必要とされる経理技術を身に付けることを目的とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記を通じて学んだ会計知識を基に実務で要求される業務ができるようになる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③ 16 外貨建会計① 17 外貨建会計② 18 外貨建会計③ 19 外貨建会計④ 20 リース取引① 21 リース取引② 22 リース取引③ 23 リース取引④ 24 キャッシュ・フロー計算書① 25 キャッシュ・フロー計算書② 26 キャッシュ・フロー計算書③ 27 キャッシュ・フロー計算書④ 28 キャッシュ・フロー計算書⑤ 29 キャッシュ・フロー計算書⑥ 30 税効果会計①	31 税効果会計② 32 税効果会計③ 33 税効果会計④ 34 税効果会計⑤ 35 税効果会計⑥ 36 退職給付会計① 37 退職給付会計② 38 退職給付会計③ 39 退職給付会計④ 40 退職給付会計⑤ 41 消費税法① 42 消費税法② 43 消費税法③ 44 消費税法④ 45 消費税法⑤ 46 消費税法⑥ 47 消費税法⑦ 48 消費税法⑧ 49 消費税法⑨ 50 消費税法⑩ 51 法人税法① 52 法人税法② 53 法人税法③ 54 法人税法④ 55 法人税法⑤ 56 法人税法⑥ 57 法人税法⑦ 58 法人税法⑧ 59 法人税法⑨ 60 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パソコン実習応用		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	文書の作成と管理①	31
	2	文書の作成と管理②	32
	3	文書の作成と管理③	33
	4	文書の作成と管理④	34
	5	データベース機能の利用①	35
	6	データベース機能の利用②	36
	7	データベース機能の利用③	37
	8	データベース機能の利用④	38
	9	データの抽出①	39
	10	データの抽出②	40
	11	データの抽出③	41
	12	データの抽出④	42
	13	ピボットテーブル①	43
	14	ピボットテーブル②	44
	15	ピボットテーブル③	45
	16	ピボットテーブル④	46
	17	マクロによる作業の自動化①	47
	18	マクロによる作業の自動化②	48
	19	マクロによる作業の自動化③	49
	20	マクロによる作業の自動化④	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理実務実習		
実務家教員			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	40時間		
授業コマ数	20コマ		
授業概要	実務で必要とされる事務処理を身に付けることを目的とする。 消費税処理、伝票処理、給与処理などを中心に学ぶ。		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解・計算・書類作成を行う		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム（基礎・作成）	31
	2	小切手・手形の実務上のポイント（基礎・作成）	32
	3	入金伝票と現金出納帳（基礎・作成）	33
	4	当座預金出納帳と手形記入帳（基礎・作成）	34
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分（基礎・計算）	35
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（基礎）	36
	7	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（基礎・計算）	37
	8	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎①・計算）	38
	9	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎②・計算）	39
	10	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎③・計算・作成）	40
	11	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎④・計算・作成）	41
	12	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎⑤・計算・作成）	42
	13	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎⑥・計算・作成）	43
	14	個人住民税の徴収及び納付（基礎・計算・作成）	44
	15	個人住民税の徴収及び納付（基礎①・計算・作成）	45
	16	印紙税の基礎知識（基礎・計算・作成）	46
	17	受取利息の会計処理（基礎・計算・作成）	47
	18	消費税法の概要（基礎・計算・作成）	48
	19	消費税の会計処理（基礎・計算・作成）	49
	20	確認テスト	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計ソフト演習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 振替伝票の入力操作① 2 振替伝票の入力操作② 3 入出金伝票の入力操作① 4 入出金伝票の入力操作② 5 仕訳帳の入力操作① 6 仕訳帳の入力操作② 7 売掛帳・買掛帳の入力操作① 8 売掛帳・買掛帳の入力操作② 9 現金出納帳・預金出納帳の入力操作① 10 現金出納帳・預金出納帳の入力操作② 11 勘定科目の追加登録 12 付箋機能 13 決算手続きの操作① 14 決算手続きの操作② 15 決算手続きの操作③ 16 決算手続きの操作④ 17 決算書の作成① 18 決算書の作成② 19 決算書の作成③ 20 翌期繰越処理 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	接遇マナー実践	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	3学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 演習⑦ 15 演習⑧ 16 演習⑨ 17 演習⑩ 18 演習⑪ 19 演習⑫ 20 演習⑬ 21 演習⑭ 22 演習⑮ 23 演習⑯ 24 演習⑰ 25 演習⑱ 26 演習⑲ 27 演習⑳ 28 演習㉑ 29 演習㉒ 30 演習㉓	31 演習㉔ 32 演習㉕ 33 演習㉖ 34 演習㉗ 35 演習㉘ 36 演習㉙ 37 演習㉚ 38 演習㉛ 39 効果測定① 40 効果測定② 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	Officeソフトの基本操作を身に付けることを目的とする。 ワード・エクセルの操作方法の復習と他のソフトの基本操作について学ぶ。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成（2）① 8 表、画像、図形を使った文書の作成（2）② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（2）③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥ 16 数式・関数を活用した集計表の作成① 17 数式・関数を活用した集計表の作成② 18 数式・関数を活用した集計表の作成③ 19 ワークシート間の集計① 20 ワークシート間の集計② 21 ワークシート間の集計③ 22 グラフの基本① 23 グラフの基本② 24 グラフの基本③ 25 目的に応じたグラフの作成と編集① 26 目的に応じたグラフの作成と編集② 27 目的に応じたグラフの作成と編集③ 28 データベース機能の利用① 29 データベース機能の利用② 30 データベース機能の利用③	31 データの抽出① 32 データの抽出② 33 データの抽出③ 34 ピボットテーブル① 35 ピボットテーブル② 36 ピボットテーブル③ 37 マクロによる作業の自動化① 38 マクロによる作業の自動化② 39 マクロによる作業の自動化③ 40 マクロによる作業の自動化④ 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実務会計実習	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	商企業を前提とした事務手続きに必要な知識習得を目的とする。 商品の発注・受注から納品・請求までの一連の事務手続きについて学ぶ。	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 売掛債権管理① 2 売掛債権管理② 3 売掛債権管理③ 4 売掛債権管理④ 5 買掛債務管理① 6 買掛債務管理② 7 買掛債務管理③ 8 買掛債務管理④ 9 在庫管理① 10 在庫管理② 11 在庫管理③ 12 在庫管理④ 13 固定資産① 14 固定資産② 15 固定資産③ 16 固定資産④ 17 ソフトウェア管理① 18 ソフトウェア管理② 19 ソフトウェア管理③ 20 ソフトウェア管理④ 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合演習（接遇論マナー実践）	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	80時間	
授業コマ数	40コマ	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 電話の対応 4 接客① 5 接客② 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 演習⑦ 15 演習⑧ 16 演習⑨ 17 演習⑩ 18 演習⑪ 19 演習⑫ 20 演習⑬ 21 演習⑭ 22 演習⑮ 23 演習⑯ 24 演習⑰ 25 演習⑱ 26 演習⑲ 27 演習⑳ 28 演習㉑ 29 演習㉒ 30 演習㉓	31 演習㉔ 32 演習㉕ 33 演習㉖ 34 演習㉗ 35 演習㉘ 36 演習㉙ 37 演習㉚ 38 演習㉛ 39 効果測定① 40 効果測定② 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	学修成果に基づき、成績を80点以上「優」、60点～79点「良」、50点～59点「可」、50点未満は「不可」の4段階評価とする。	